

イチゴ「ゆうべに」には 白黒マルチが適する

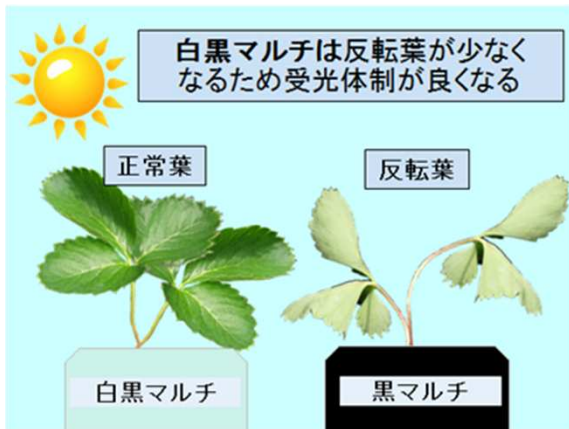


図. マルチ種類による受光体制の違い

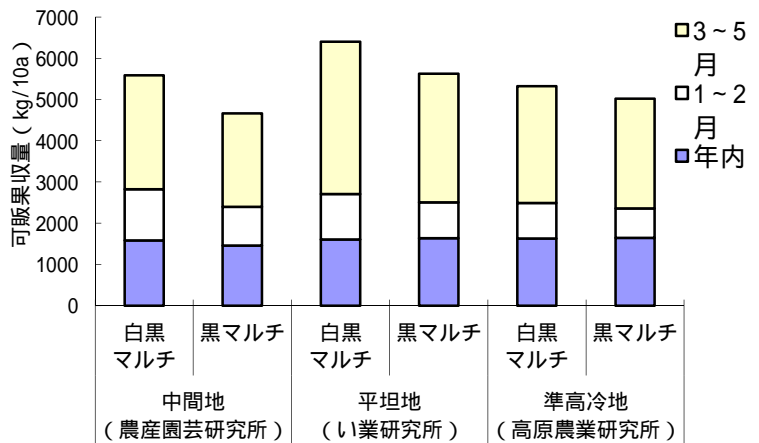


図. 標高の違いにおける時期別可販果収量

問 研究のねらいは？

答 熊本県が育成したイチゴ新品種「ゆうべに」の品種特性にあったマルチ種類を選択することを目的に、**マルチの種類が「ゆうべに」の生育、収量及び品質に及ぼす影響**について検討しました。

問 優れている点は？

- 答
- ① 白黒マルチを使用すると、葉柄長は短く反転葉も少なくなり、**受光体制が良**くなります。
 - ② 平坦地、中間地、準高冷地ともに可販果収量が多く、**厳寒期の収量低下が軽減**され、地温が低下しやすいサイド畝でも、可販果収量が多くなります。
 - ③ 冬期は成熟までの日数が変わらず、**春期は果実硬度が高く、糖度が高**くなります。

問 栽培または普及するうえで注意する点は？

答 ① 栽培指針を遵守して冬期の**最低気温を確保**してください。

農産園芸研究所 野菜研究室
アグリシステム総合研究所 野菜栽培研究室
高原農業研究所